

日付	漁業 区	投網時 始時	投網時 終時	操業 人員	水深 m	水温	餌料	漁獲物	大3.5kg以上小1-2kg 中2-3.5kg 小幼1kg以下
228	8	14-52	15-24	5人	10	27.0	サシマ	なし	
"	9	15-31	16-09	5人	11	24.0	"	キンメダイ(幼)1 ヒラマチ(中)2	
"	10	16-19	16-45	2人	12	25.0	"	ハマダイ(大)5(中)1 ヒメダイ(幼)5 ヒラマチ(中)5 (小)2 カンパチ(大)1	
"	11	17-00	17-29	2人	10	24.0	"	ハマダイ(大)2(中)1(小)1 アダイ(小)8 メバル(中)2	
"	12	17-36	18-05	5人	8	22.0	"	ハマダイ(大)2 アダイ(中)1 ヒラマチ(大)11(中)6	

5. 漁場別及び各魚種別の漁獲状況

イ、赤尾崎附近漁場

水深165m～210mの範囲を5回操業し20尾を釣獲したが、殆んどが小型の上に乗魚が多く、一時的漁獲の対象としては価値は極めて低い。魚種別の釣獲率は大口インナビキ(タイクナマチ)小2尾(10%)、ヒメダイ(モマチ)中小6尾(30%)、キンメダイ8尾(40%)、サ4尾(20%)となつている。表面水温は22.8℃～23.0℃であつた。

ロ、魚釣島東方漁場

ア、魚釣島東方18区水深240mの漁場で1回操業したが漁獲は皆無。

イ、南小島東方5区附近水深120m～265m位の漁場では12回の操業を行へ、152尾を釣獲す。魚種を水深別に見ると120m～165mでは漁獲高93尾中殆んどヒメダイ中小型で87尾を占めている。240m～265mでは漁獲高59尾中ハマダイ(大中小)51尾であつた。本漁場での魚種別の釣獲率はハマダイ51尾(53.6%)、ヒメダイ85尾(55.9%)、ブリ(ウテムル)4尾(2.6%)、大口インナビキ(タイクナマチ)5尾(3.3%)その他7尾(4.6%)となつている。

ロ、南小島東方3区を中心とした附近漁場で水深230～320mあり、毎週上の240m前後より1区程度離れて存在する小さな浅瀬と並ぶ個所で今回の調査から優秀な漁場であると思われる。即ち本漁場では24日、25日、27日、28日の4日間(26日は時化のため休漁)を通じ合計52回操業調査し、内1回大規模操業の以外は毎日良好な漁獲を揚げ総尾数1085尾の成果があつた。

魚種も一時的漁獲の対象魚として優秀なハマダイ、ドンコ(ヒラマチ)、ヒメダイ、アダイがその大部分であつた。

魚種別の釣獲率はハマダイ730尾(67.5%)ヒラマチ261尾(24.1%)、メイ、アダイ46尾(4.2%)、ヒメダイ13尾(1.2%)、ブリ(ウテムル)8尾(0.7%)、メバル3尾(0.3%)、その他24尾(2.2%)であつた。

表面水温は22.8℃～25.8℃であつた。

本漁場に於ける釣獲状況を船首目と赤尾崎列に見た場合、同メウラがある、釣獲数が一様でない等が認められた。この現象から考察するに本漁場は極めて巾広い深長い連続帯であり